

日本の硝子工業の現状と将来の展望
硝子の製造は、今日各国の硝子工業の第一番硝子製造に
争ひ合はるる重要な工業となつて居る。硝子の製造は、
二十世紀の重要な工業となつて居る。硝子の製造は、
交井の硝子工業の第一番硝子製造に争ひ合はるる重要な工業となつて居る。
硝子の製造は、今日各国の硝子工業の第一番硝子製造に争ひ合はるる重要な工業となつて居る。
硝子の製造は、今日各国の硝子工業の第一番硝子製造に争ひ合はるる重要な工業となつて居る。

海外に輸出されて居る状態であり、ます自分の國で使ふのは全体産額の一割で、其九割は外國に輸出されると云ふ状態にて、自耳義の硝子工業は産業の内一番重要品と云つて宜い。自耳義は硝子工業は世界で一番だが、夫れから英國、佛蘭西、日本と云ふ順位で盛に製造されて居る。日本は硝子工業の方から云へば世界で三四番目であるが、能く日本の資本家などは日本の工業は頗る幼稚であると云つて居るが事實は世界で三四番目と云つて宜しい。此の硝子工場の事に就ては二通りになつて居る。其の一ツは口吹て今一ツは機械吹てする二色に別れて居ります。之が又非常に複雑であつて諸君は御承知かも知りませんが日米硝子、朝日硝子、尼崎製硝子などは皆機械を用ひて居ります。處が從來から日本にある硝子工業は口吹てあるが茲に云ふ口吹と云ふのは、そんな小さい量のみならず、口吹の事ではない。それは先にも云ふ通り、タンク釜を使用する大仕懸なもの、釜の長さが八間もある片一方から材料を投り込むと夫れが溶して出る様になつて居ります。夫れ故に日本の